

# 情報を駆使して世界を切り拓く令和の時代の主役たちへ

今、みなさん一人ひとりの手元には、タブレット型パソコンが銀色に輝いていることでしょう。手にとってみた今の心の内は、どのような気持ちであふれているのでしょうか。

これからの令和の時代は、このようなICT機器を使って、情報を活用しながら学び、生活していくことが当たり前前の世界になっていきます。どのような仕事をやるにしても、ICT機器や情報を使いながら、課題を解決したり、よりよい方法を考えたりしていきます。世界中の人とも、ICT機器を通して、どこにいてもつながることができるので、情報や思いを共にすることができます。戦争や貧困、環境など、これまでなかなか解決できなかった世界の難しい問題も、よりよい方向に進めていくことができるかもしれないのです。

そのためには、ICT機器を正しく使い、情報を適切に活用する力を、みなさん一人ひとりが持つ必要があります。

このタブレット型パソコンは、そのような力をつけてもらうために、日本全国、鶴岡市の人々が、少しずつお金を出し合って、準備したものです。

これからの時代を生きるみなさんにとって、絶対に必要となるその力を、このタブレット型パソコンを学校や家庭での学び・生活の中で使いながら、それぞれに合った内容とペースで、確実に身に付けていくことを願っています。

みなさんに貸し出すこのタブレット型パソコンは、今後、みなさんの下の世代の子どもたちも使っていきます。準備してくれた方々の思いに応え、できるだけ長く使っていけるように、次の3つのことを守って使ってください。

1. 学習をするために使うこと
2. 大切に使うこと
3. ルールを守ること

「どのような学びが始まるのかな。」「これを使って何を調べ、何を作ろうかな。」手にしたときの、ワクワク、ドキドキした気持ちを忘れず、思う存分活用することを期待しています。

令和3年4月

つるおかしきょういくいいんかい  
鶴岡市教育委員会

きょういくちょう ぬのかわ あつし  
教育長 布川 敦